

有機農業研究者会議 2009

2009年12月17日(木)13時~18日(金)12時
(財)筑波学都資金財団 筑波研修センター 第1研修室

有機農業推進法を受けて、国、地方自治体はじめ有機農業推進への様々な取り組みがなされようとしています。なかでも、有機農業実施の隘路となっている有機農業技術の体系化は、重要な課題です。現在、国、地方自治体はじめ民間で様々な技術開発の取り組みがなされようとしています、その情報交流の場が少ないのが現状です。

そこで、国、地方自治体および民間の研究者など有機農業の試験研究に携わっている(携わろうとしている)方々が情報交流を行える場として、「有機農業研究者会議 2009」を開催します。時節柄ご多忙のところですが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席いただけますようご案内申し上げます。

参加対象

生産者、国・地方自治体・大学および民間の有機農業試験研究者

参加費

3,000円(資料代)

主催

NPO法人有機農業技術会議

後援(申請中)

農林水産省、(独)農研機構中央農業総合研究センター

参加申込

E-mailにて、氏名・所属・連絡先・意見交換会および宿泊・朝食希望有無を添えてお申し込みください。会場内の宿泊施設の利用が可能です(宿泊費シングル3,600円、朝食代500円、意見交換会3,000円)。宿泊をされる方は、洗面用具(歯ブラシ、タオル、ヒゲ剃りなど)をご用意ください。なお、宿泊予約は、当方にて一括して申し込みます。

日程

12月17日(木)

13:30~13:40 開会あいさつ

13:40~15:10 第1部 有機農業における土づくりの実態解析と土壤肥料研究の取り組み

座長 木村 武氏((独)農研機構・中央農業総合研究センター)

話題提供者 猪股敏郎氏((財)日本土壌協会)

「有機農業における土づくりの実態と解析」

金澤健二氏((独)農研機構・中央農業総合研究センター)

「交付金プロ「日本型有機農業」における土壤肥料研究の取組について」

15:30~17:00 第2部 土壌病害対応技術と土壌生物性解析の取り組み

座長 渡邊 健氏(茨城県農業総合センター農業研究所)

話題提供者 仲川晃生氏((独)農研機構・中央農業総合研究センター)

「熟利用による土壌消毒技術」

對馬誠也氏((独)農業環境技術研究所)

「土壌微生物相の解明による土壌生物性の解析技術の開発」

17:30~20:00 意見交換会

12月18日(金)

9:00~10:30 第3部 実施事例

座長 岸田 芳朗氏(岡山大学農学部)

話題提供者 澤登 芳氏(山梨県・澤登ぶどう・キウイフルーツ品種研究所)

須賀利治氏(埼玉県・自然農法上里生産組合)

三上新一氏(青森県・(有)瑞宝代表取締役)

11:00~12:00 第4部 総合討議

座長 木嶋利男氏(有機農業技術会議)

※内容は都合により変更される場合があります。

アクセス

■バスご利用の場合

○つくばエクスプレストくば駅より

つくばバスセンター1番乗り場より「筑波大学循環(右、左回り)」または「筑波大学中央行」バスで「筑波メディカルセンター前」バス停下車徒歩約8分

○JR(常磐線)土浦駅(西口)から

西口2番乗り場より「筑波大学中央行」バスで「筑波メディカルセンター前」バス停下車

■高速バスご利用の場合

○東京駅八重洲南口より常磐高速バスつくば号「筑波大学行」で「筑波大学病院入口」下車、徒歩約10分



問い合わせ先

NPO法人有機農業技術会議 事務局

〒390-1401 長野県東筑摩郡波田町 5632

E-mail:office@ofrc.net Website:www.ofrc.net